「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時 平成 30年 10月 16日(火)9:40~11:30

場 所 江津市立高角小学校 理科室·体育館

対 象 6年生児童 38名

指導者 担任 森山敏広 宮内真実 千代延浩嗣

埋蔵文化財調査センター 今福拓哉

柳浦俊一

1. 主 題 江津市の歴史

2. ねらい

- ○江津市の歴史や遺跡についての学習を通し、身近な文化財を通して歴史学習を進める楽しさを味 わうとともに、地域に対する愛着の気持ちを育てる。
- ○奈良の大仏パネルを完成させることで、その大きさを実感し、当時の人々の知恵や技術、思いの 深さについて考えることができる。

3.展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	準備物
9:40	学習の見通しを持つ。	・講師及び歴史博物館職員の仕事を紹介する。	
		・学習の内容やねらいを説明する。	
9:45	江津市の歴史を知ろう。	・江津市の遺跡についての説明を聞き、遺物を	出土遺物
		見たり、遺物に触れたりすることで、地域の歴	説明用
		史に関心をもたせる。	映像資料
	・弥生時代の遺跡		他
	・古墳		
	・幕末期		
10:30	休憩		
10:40	奈良の大仏パネルを作ろう。	・土台になる台座の部分を先に並べ、その後残	大仏パネル
		りのパーツを協力し完成させることで、バラン	
		スよく並べられるようにする。	パネル
11:10	奈良の大仏の話を聞こう。	・実物大の奈良の大仏パネルを見ながら、奈良	配置図
		の大仏の説明を聞くことで、イメージを膨らま	
		せる。	
		・大きさを実感するために、パネルの上に並ん	
		でみる。(記念写真撮影)	
	片づけ		
11:20	学習のまとめをしよう	・感想発表をする。	アンケート
		・アンケートに答える。	用紙

文化财子ども塾(月日)

年 氏名(江津市の遺跡について 大仏パネルの感想